



# 古河瓦版

株式会社 古河

TEL: 03-3623-7176

FAX: 03-3624-4401

## ○こちら古河営業部

3月は卒業の季節

卒業に欠かせないアイテムといえば・・・そうです、アルバムです！皆さんも1冊はお持ちではありませんか？私も実家に行ってどんなアルバムだったか探してみました。それがこちら。アルバムって不思議なもので、めくるたびに当時の記憶がハッキリと思い起こされますよね。ところで自分のアルバムに使用されている素材について考えた事がありますか？気になったので実家で探してみたところ、当社の加工部でよく見かける布クロスの色違いでした!!当時は中身にしか興味を持っていなかっただけに、今の自分目線で見ると、身近なところ取扱商品が使われている嬉しさを感じました。我が子は年少さんですが、卒園する時のアルバムはどんな素材が使われるのかなあ～。今から楽しみです。(古河英徳)



## ○紙商人のつぶやき

体当たりカルトナーージュ体験



厚紙に生地を貼って箱などを作るカルトナーージュは、女性の趣味として人気があります。先日お客様からカルトナーージュのワークショップのお誘いをいただき、体験してきました。当日は講師の方を含め女性が7人、男性は私1人。しかも場所は青山という完全アウェーの中、クリスマス飾りを作りました。チップボールとケント紙に刷毛で丁寧に糊を引き、クリスマスにピッタリの柄の布を貼っていきます。そして作る約2時間。紆余曲折を経て、ついに完成です！紙を売る商売をしていて最終的にどんなものに使われているのかを知ることは、とても大切なことだと勉強になりました。機会があればぜひまた参加したいです！今度はアウェーにならない様に、一緒に行ってくれる勇気のある男性はいらっしゃいませんか？(飛田智弘)

## ○ちょっとそこまで

ウマヤハシ

私は毎日、隅田川に掛かる厩橋を渡って通勤しています。当社の有るこの地区は江戸時代には幕府の御米蔵があったらしく、荷運び用の馬の厩が有り、御厩(おんまや)の名称から厩橋となったようです。厩橋は3連のアーチ構造の橋でステンドグラスの様なガラス細工が組み込まれ、馬にまつわるオブジェが橋全体に有り歩いて楽しい橋です。昨年長寿命化工事を終わらせ、緑の塗装も直しとても綺麗になりました。また2020年までには周りの橋も含めLED照明を新設する工事も予定されています。昭和時代の芸術性の高いデザインの橋、ちょっと散歩に如何でしょうか？(荒牧龍也)

## 編集後記

古河瓦版も創刊より早2年が経ちました。本誌がお客様にとって、無くてはならない存在になれるよう、3年目は更なる紙面の充実を目指してがんばります！ここで、最後まで読んでいただいた方に【掘り出し物市】のお知らせです。お仕事はもちろん趣味でも使える製品が格安で手に入るかも！？詳しくは営業部までお問い合わせください！(飯塚大輔)

弊社の情報はホームページでもご確認いただけます。 <https://furukawa21.jp/>